

幸運なんです。
雲南です。

小規模多機能自治による 住民主体のまちづくり

～雲南市の地域自主組織～

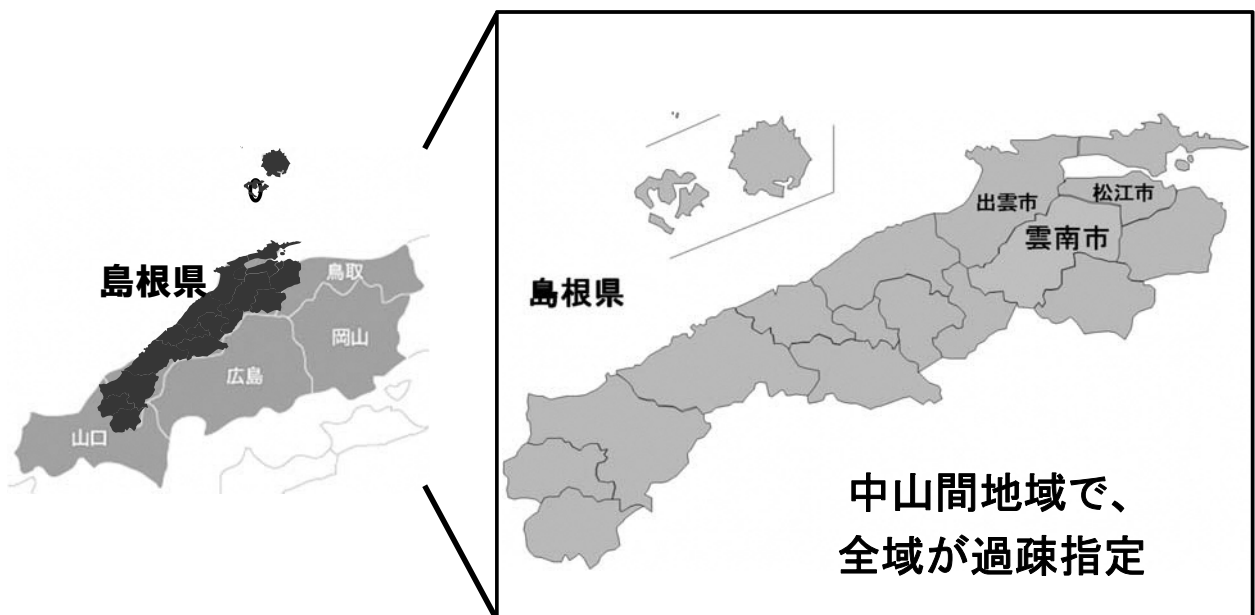
平成31年3月12日

島根県 雲南市

(政策企画部地域振興課)

雲南市の概要

- 平成16年11月1日、6町村で合併し、「雲南市」誕生。



■ 面積	553.2km ²	(東京23区の約9割)
■ 人口	39,032人	(平成27年国勢調査)
■ 高齢化率	36.5%	(平成27年国勢調査)

雲南ブランド化プロジェクト

幸運なんです。
雲南です。



- ⇒ ■ふるさととの5つの恵みを大切にした多様な豊かさ
- ⇒ ■ふるさとを知り、磨き高め、誇りに思える暮らし
 - 地域メッセージを明確にし、発信
- ⇒ ■地域の存在意義
 - 地域の誇り
 - 地域の個性・価値の発揮

雲南ブランドの確立

- 理念 = まちづくりの基本理念「生命と神話が息づく 新しい日本のふるさとづくり」
- 対象 = 雲南市(雲南市をまるごとブランド化)

2

小規模多機能自治の仕組み

小規模ながらも、
様々な機能をもった、
住民自治の仕組み

=概ね(小)学校区域
=分野横断し、統合
=住民の参画・協働

特徴

- 協(総)働の仕組み
 - ...市民一人ひとりの力を発揮する仕組み
 - ...自治の原点を取り戻す仕組み
 - ...参加だけでなく、参画につながる仕組み
- 自治体内分権の仕組み(全域対象)
- 人口減・少子高齢化にも対応する仕組み

3

小規模多機能自治組織の性格

＜概ね小学校区の範囲＞

地域の自治

(自ら考え、決定)

&

地域の運営

(実践・実行)

- 地域内のことを「自ら考え、決定し、実行」する組織。
...実行するのは、組織本体の場合もあれば、
組織内の構成団体の場合もある。
- その結果、地域主体で公共の福祉を担っており、
行政とも協働し、住みよい地域の形成を図っている。

4

全国的な導入拡大の背景

■ 合併による広域化と行政の限界

→ 地域) 行政が遠くなった...

行政) 一律公平な行政運営だけでは限界

→ 多様な主体によるまちづくりが必要

⇒ 全域での地域の主体性発揮へ

■ 人口減少と高齢化

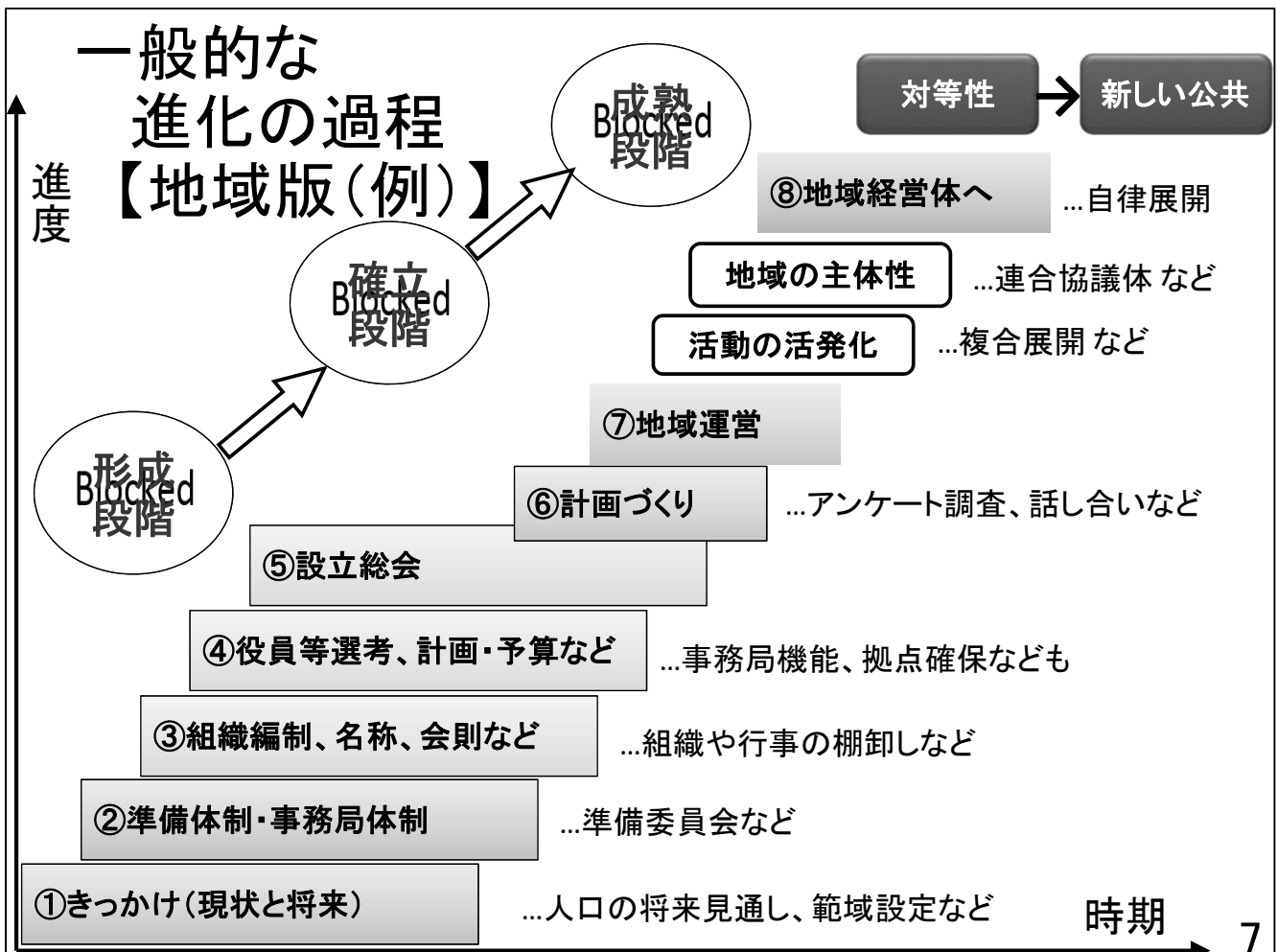
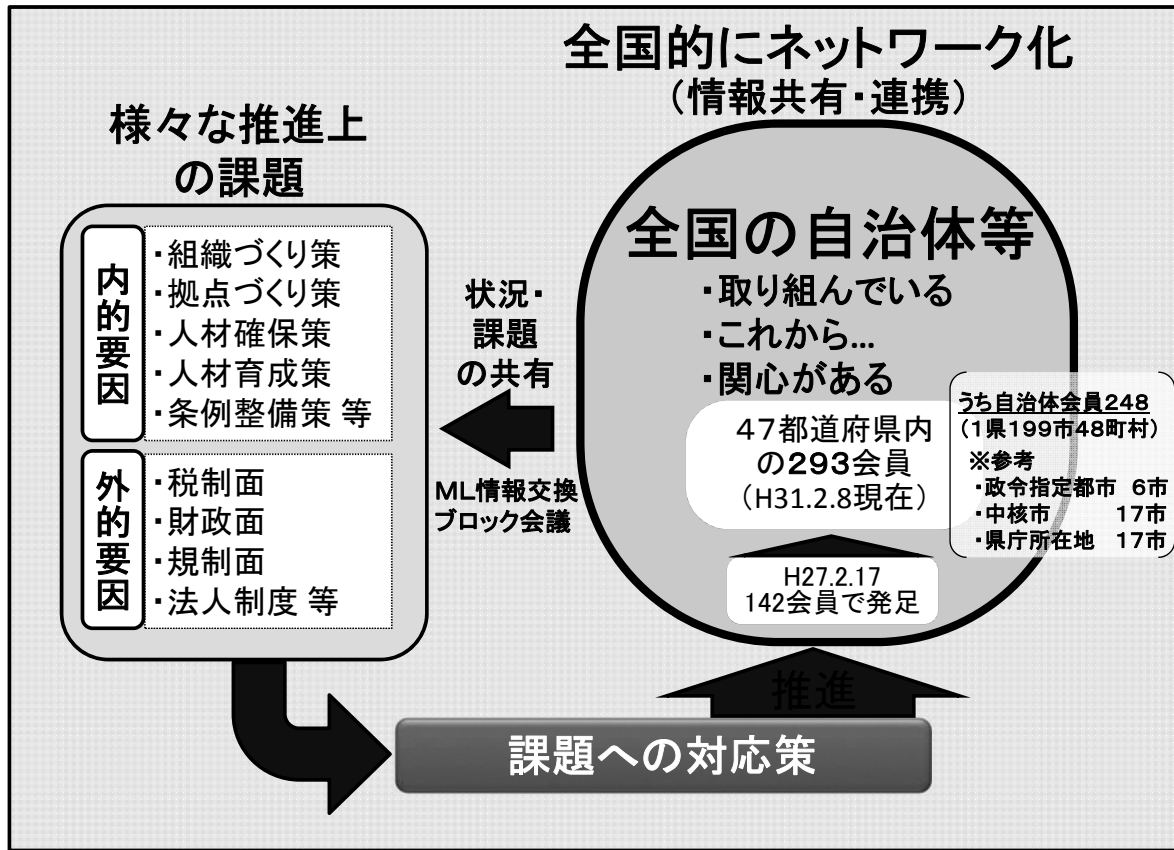
→ 人と人との絆は加速度的に減少

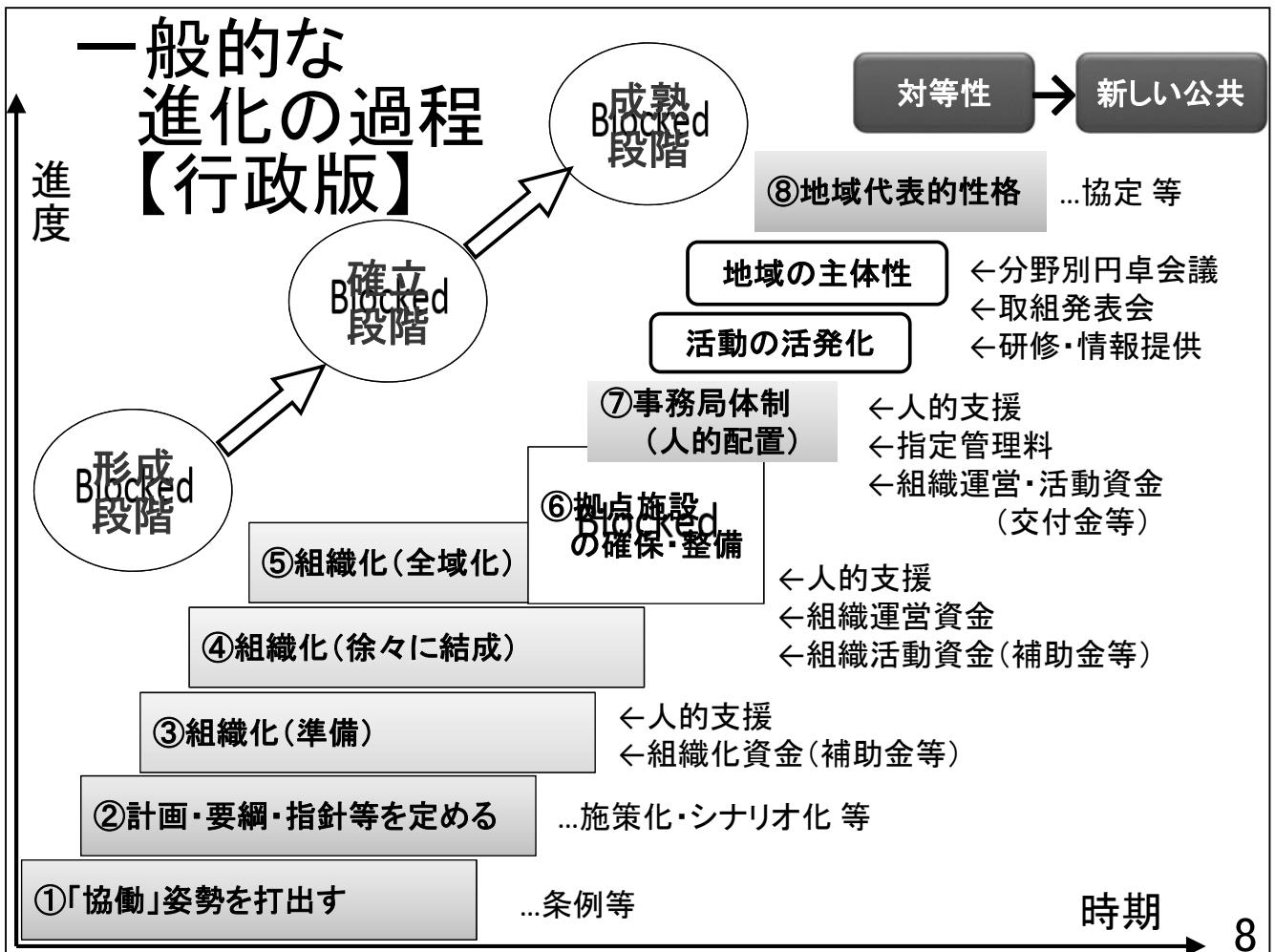
→ 負のスパイラルへ

⇒ 絆の再構築が必要

5

小規模多機能自治推進ネットワーク会議





基盤となる「協働」

～雲南市の場合～

雲南市まちづくり基本条例(平成20年11月1日施行)より

(前文 抜粋)

～中略～

「まちづくりの原点は、主役である市民が、自らの責任により、主体的に関わることです。

ここに、市民、議会及び行政がともにこの理念を共有し、協働のまちづくりをすすめるため、雲南市まちづくり基本条例を制定します。」

(目的)

第1条 この条例は、雲南市におけるまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その基本となる事項を定め、協働のまちづくりをすすめることを目的とします。

「協働のまちづくり」をまちづくりの基本に据えている点が重要！

ここからどのようにして「協働」の仕組みを整えるか...

→ 雲南市のまちづくりの基本 = 「協働のまちづくり」

そのためには ⇒ 市民が主体的に関わる必要がある。

市民が主体的に関わる = 「住民自治」

組織設立のきっかけ<市町村合併時の場合>

～雲南市の例～

- ◆ 集落機能を補完する新たな自治組織の確立
- ◆ 地域の主体性に基づく組織化が進むような環境づくり

地域自主組織を位置付け

H20 まちづくり基本条例施行

H19 総合計画策定

H17
～H19

H16



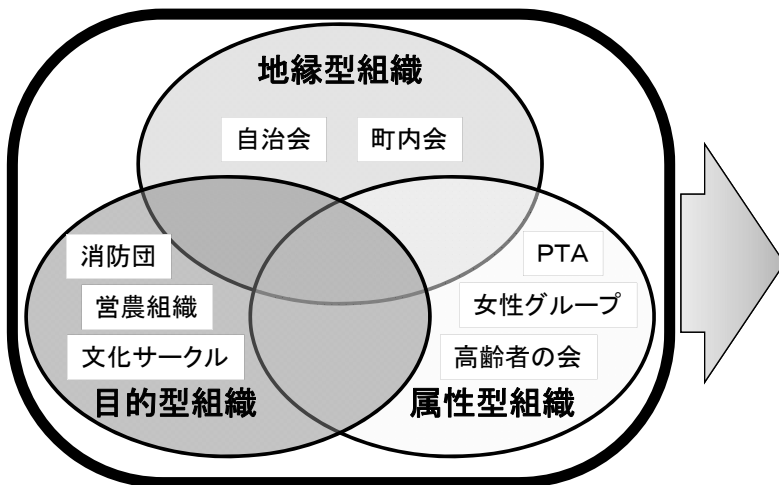
H16.11
雲南市発足

コミュニティ・住民自治プロジェクト報告書

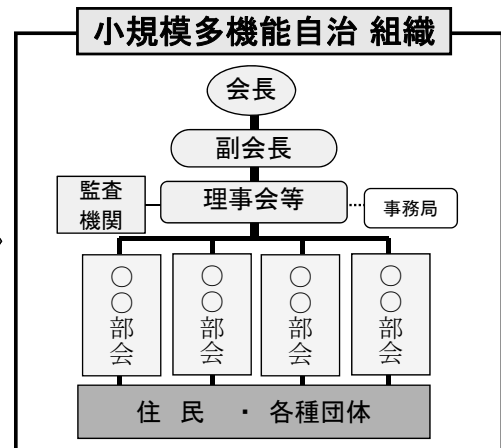
新市建設計画

市民力を地縁単位で結集

概ね小学校区域で
あらゆる団体が結集



地域の総力を結集し、
地域課題を自ら解決！



地域の経営体
(住民自治のプラットフォーム)

～考え方～

“1世帯1票制”
ではなく
“1人1票制”

(雲南市)地域自主組織一覽

町	No.	地域自主組織名	拠点施設名	人口	世帯	H28.10.31現在	
						高齢化率%	面積km ²
大東町	1	大東地区自治振興協議会	大東交流センター	3,701	1,263	32.72%	14.68
	2	春殖地区振興協議会	春殖交流センター	2,230	701	33.77%	12.01
	3	幡屋地区振興会	幡屋交流センター	1,547	467	35.36%	13.61
	4	佐世地区振興協議会	佐世交流センター	1,669	499	37.15%	14.72
	5	阿用地区振興協議会	阿用交流センター	1,194	391	35.01%	11.68
	6	久野地区振興会	久野交流センター	577	209	43.50%	28.41
	7	海潮地区振興会	海潮交流センター	1,678	537	40.82%	38.36
	8	塩田地区振興会	塩田交流センター	148	63	52.70%	18.76
加茂町	9	加茂まちづくり協議会	加茂交流センター	6,028	1,924	33.18%	30.91
木次町	10	八日市地域づくりの会	八日市交流センター	906	400	40.95%	1.09
	11	三新塔あきば協議会	三新塔交流センター	1,039	381	41.10%	1.20
	12	新市いきいき会	新市交流センター	551	185	37.75%	0.85
	13	下熊谷ふれあい会	下熊谷交流センター	1,072	410	25.65%	2.57
	14	斐伊地域づくり協議会	斐伊交流センター	2,159	710	25.85%	5.48
	15	地域自主組織 日登の郷	日登交流センター	1,548	482	38.05%	20.77
	16	西日登振興会	西日登交流センター	1,097	339	40.11%	13.15
	17	温泉地区地域自主組織 ダム湖の郷	温泉交流センター	475	172	49.26%	18.96
三刀屋町	18	三刀屋地区まちづくり協議会	三刀屋交流センター	2,560	967	29.73%	4.95
	19	一宮自主連合会	一宮交流センター	1,961	632	34.06%	16.91
	20	雲見の里いし	飯石交流センター	774	261	40.96%	13.48
	21	躍動と安らぎの里づくり鍋山	鍋山交流センター	1,404	450	38.89%	23.84
吉田町	22	中野の里づくり委員会	中野交流センター	534	207	43.07%	23.50
	23	吉田地区振興協議会	吉田交流センター	1,017	390	45.23%	58.05
掛合町	24	民谷地区振興協議会	民谷交流センター	169	54	44.97%	15.00
	25	田井地区振興協議会	田井交流センター	605	206	39.83%	40.93
掛合町	26	掛合自治振興会	掛合交流センター	1,471	541	35.01%	20.61
	27	多根の郷	多根交流センター	470	160	44.26%	12.70
	28	松笠振興協議会	松笠交流センター	347	107	40.35%	18.82
	29	波多コミュニティ協議会	波多交流センター	323	147	50.46%	29.28
	30	入間コミュニティ協議会	入間交流センター	265	114	49.43%	28.09
計				39,519	13,369	35.73%	553.37

・H19年度に市内全域で結成完了
・住民発意により発足

■地域自主組織数=30組織
■拠点数=30交流センター

※H19.9.30

市内最後の地域自主組織が発足。
(当時44組織目)

※H22.4.1、掛合地区で3つのコミュニティが1つに統合。
(市全域で42組織に)

※民谷分校の閉校を契機に、
H26.1.21、民谷地区振興協議会
が吉田地区から分離独立。
(当時43組織目)

※加茂町では14組織を一本化し、
H27.3.8、加茂まちづくり協議会が
発足。(市全域で30組織に)

(雲南市) 地域自主組織

■面積規模

0.85~73km²程度
(平均約18.45km²)

■人口密度

10~925人/km²程度
(平均193人/km²)



■人口規模

200人弱~6000人程度
(平均約1350人)

■世帯数

60弱~1900世帯程度
(平均約440世帯)

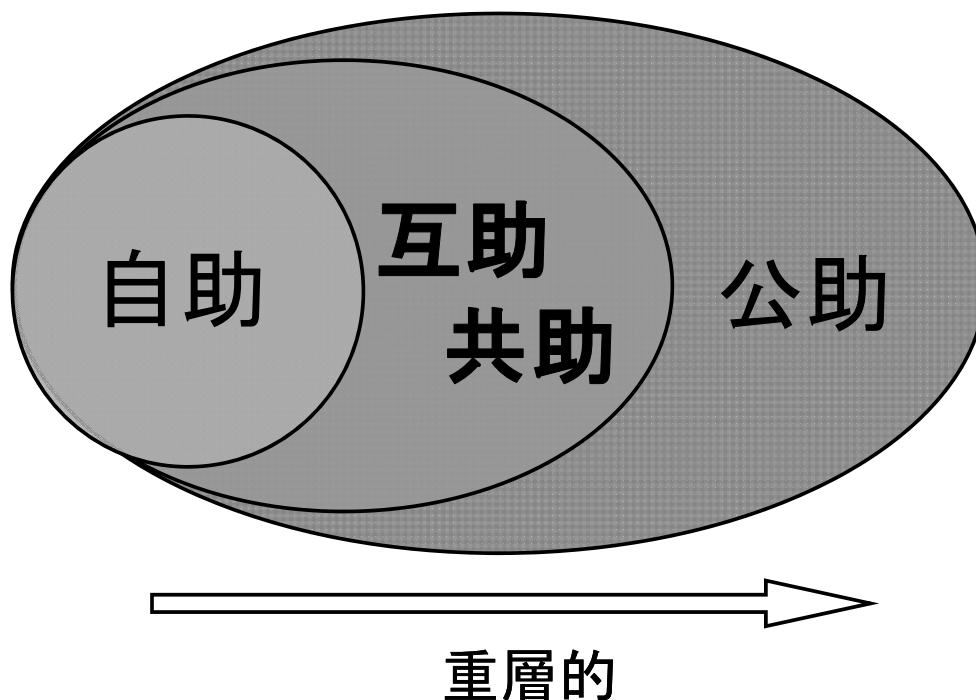
小規模多機能自治組織と自治会等の違い

小規模多機能自治組織		自治会・町内会・区
・より広域的な区域	↔	・自治会等の区域
・一人一人が中心(総合力)	↔	・世帯主が中心
・行事よりも活動が多い (課題解決志向)	↔	・活動よりも慣習的行事が多い
・スケールメリットを発揮できる	↔	・より身近なので、まとまりやすい
・常勤スタッフ体制がある	↔	・常勤スタッフ体制はない

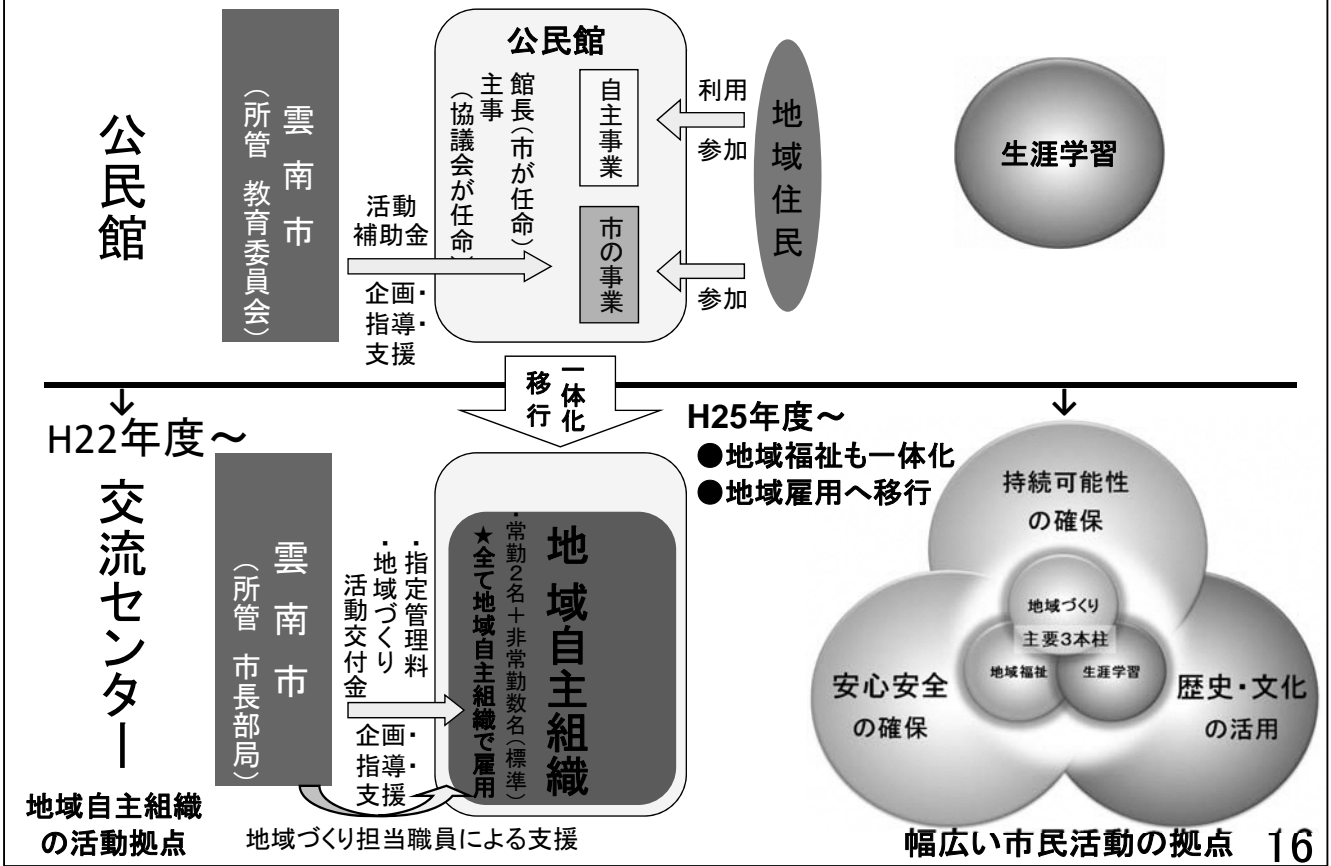
【まとめ】

- ・どっちが大事か、ということではなく、どちらも大事。
- ・基本的に、自治会等はその区域内、小規模多機能自治組織はその区域内での活動が基本となり、一般的優先度は補完性の原則による。

補完性の原則に基づく優先度

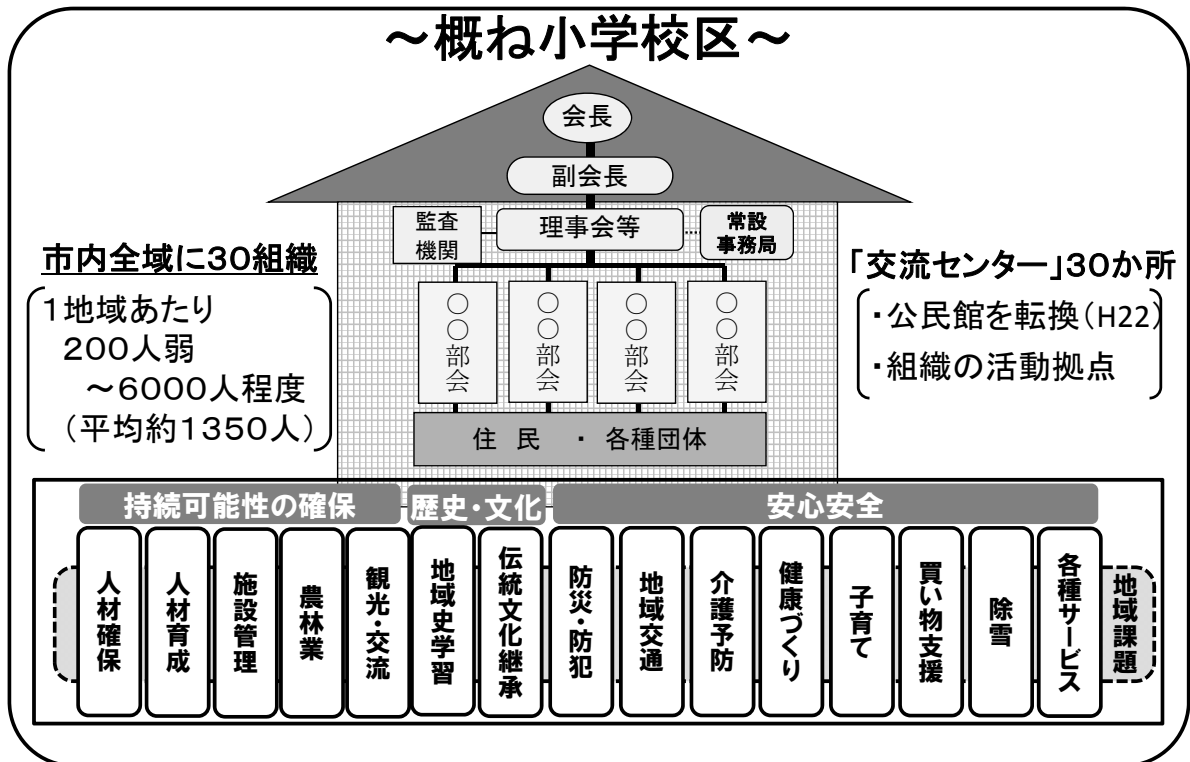


活動拠点の整備(雲南市の場合)



組織 & 拠点施設 & 常設事務局

～雲南市の場合～
～概ね小学校区～



地域課題を、住民自らが、事業化して解決！

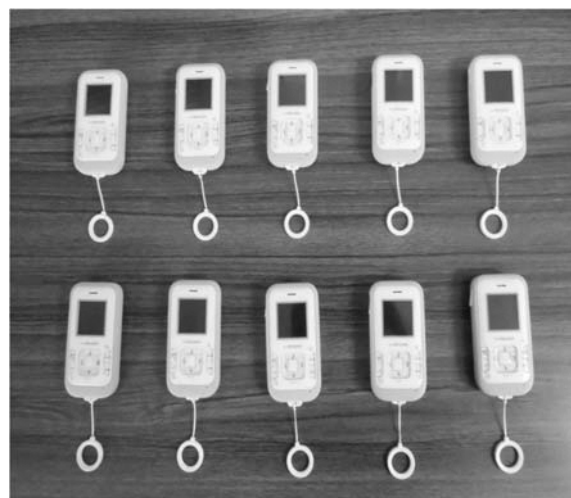
(事例) 安心生活見守り事業

【躍動と安らぎの里づくり鍋山】

「まめなか君の水道検針」 「守る君のまかせて支援事業」



市水道局との委託契約で
検針機を利用し、
毎月、全世帯を訪問、声かけ。



24時間体制で
要援護者の見守りと
SOSを受信

18

(事例) 買い物支援・地域内交通

【波多コミュニティ協議会】

波多交流センター



- ・区内唯一の小売店の撤退を受け、交流センター内に、「店舗」開設。
- ・全日本食品(株)と連携し、豊富な品揃え。
- ・拠点を活かし、地域自主組織が運営
- ・サロン機能もあり、買い物客は無料送迎

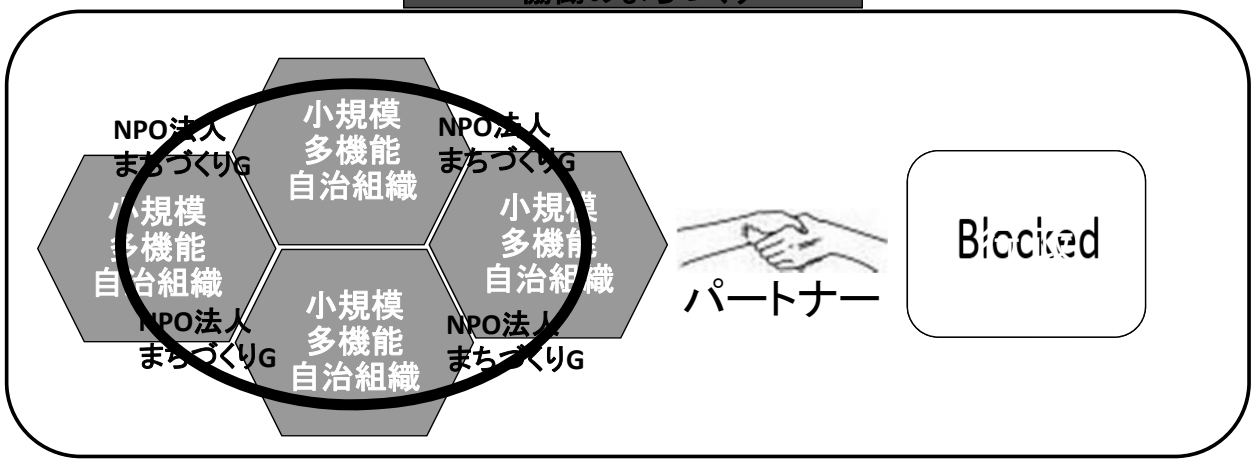


19

市民と行政が 垂直的關係から水平關係に (統制的) (協働)

まちづくりの基本理念(まち全体の共通目標)

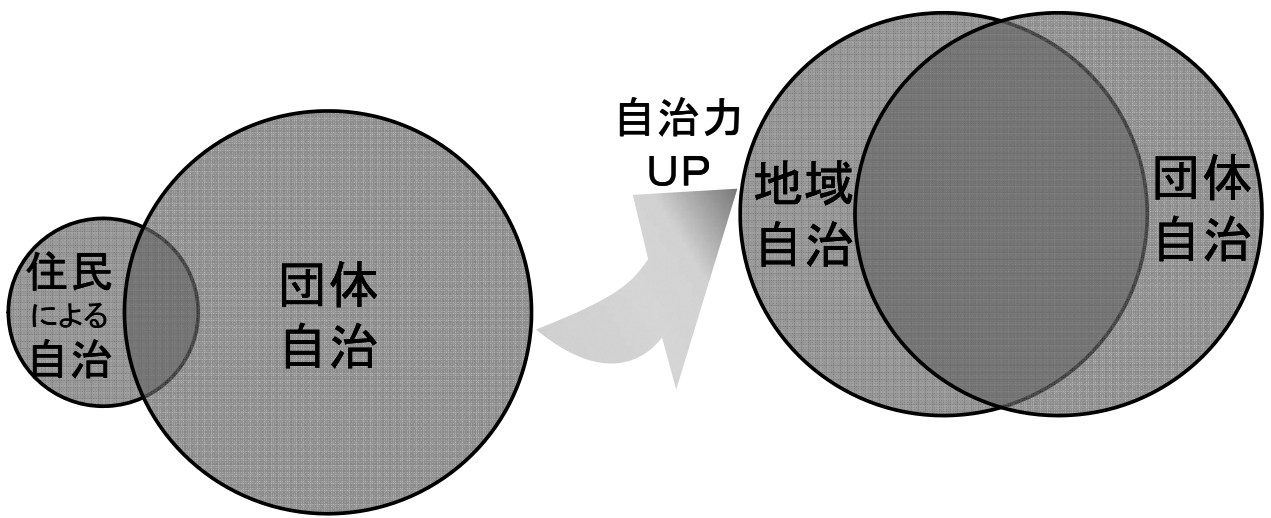
協働のまちづくり



- 住民自治の中核 = 小規模多機能自治組織
- NPO法人・まちづくりG = 自治を補完

意識改革
(住民はまちづくりのパートナー)

住民自治の進展による自治力の向上



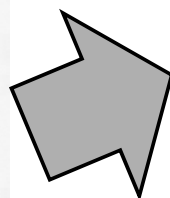
- “我がまち”の意識から、“我が地域”の意識へ
(団体自治への依存) (地域自治前提の団体自治)
- 団体自治中心の自治から、相互補完型の自治へ

“輝く地域”が“まち全体の輝きに”！

光り輝くダイヤモンドに！
(まち全体の輝き)



ダイヤモンドの原石



それぞれの地域が輝き...
(特色ある地域の集合体)

(雲南市ブランドメッセージ)

幸運なんです。
雲南です。

わたしたちの雲南市には
実にさまざまな幸があふれています。
美しい日本の原風景、自然の幸。
神話に彩られた史跡や文化遺産...歴史の幸。
毎日が新鮮、たわわな食の幸。
そして親(ちか)しく交わされる笑顔、人の幸。
変化が求められる時代に、
これだけの幸に恵まれた幸運に感謝して
このまちに生まれ、育ち、暮らすことに誇りを持ちたい。

幸運なんです。雲南です。